

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 12 月 21 日 (金) No.44

発行人

最近の三食は全て、おかゆ・スープ・
ヨーグルトの川崎先生。飽きたあ～。

◇今年最後の雑感(^)v◇

・グラウンドで3年生が体育をしている。ん？何というスポーツだ？サッカーのようで、ちょっとちがう。教頭先生に聞くと“ラインサッカー”だという。ゴールではなくてラインを越えたら得点が入る。そのラインが長いので、キーパーが4人いる。へえ～、おもしろい。しかし、男女関係なく“マジ”にボールを蹴っている。小学生くらいまでだと、まだ男子女子にあまり体力差がないので、これはこれでOKかな。しかし、まだ半袖短パンなんだ!!! あのお～今日は割合に寒いんですけど。楡形山真っ白ですけど。真冬に夏の猛暑と同じ格好ってどうよ？と思うのは、最近やたら寒がりになったおじさんの戯言か。

・最近3年生の女の子を中心に、朝からジャンケンやらクイズやらで大賑わい。“まるで女子会!?”とはある男の子。沢登t「朝から可愛い女の子たちに囲まれていいですねえ～」。はい、おっしゃる通り。あ～幸せ幸せ。役得?人生最初で最後?ろうそくの炎は消え際に大きく燃え上がるという・・・(^_^)

・最近ジャンケン強くなった。この前なんか8連勝。ふふっ、だてに毎日毎朝トレーニングしてるわけじゃないんだぜ。そして相性もあるかも。川崎の家の近所の子にはめっぽう強いんだな、これが。

・と言っている先から、今日はその子に5連敗。一体どういう訳だぐへゝ!

・「はいっ」と言って差し出されるもの。凍りついた枯葉だったり、氷の破片だったりする。枯葉は葉脈に霜がついていて、その霜の形になんか見とれてしまう。氷だって、水たまりが氷っていれば、割りたいし手に取りたいし冷たさを感じたい。そんな小さなことにもこだわる子どもたちの感性って、すべて真実に基づいている。素直ってこういうことなんだなあ。あ～、そんな日に戻りたい～。

・なんなんだ、なんなんだ。今日はめっちゃ大勢からジャンケンを挑まれる。大勢でやるから誰が勝ったんだか負けたんだか、くでになる。(+)。勝ってうれしそうに玄関に向かう子。負けたので勝つまで続ける子。勝ち続けて川崎を打ちのめす子。たかがジャンケン、されどジャンケン。なんて楽しいジャンケン(=^・^=)

・楡形の山頂近くに雪が見える。それを見た1年生。“あそこはスキー場だよな?” “あいや～、残念。南アルプス市にはスキー場ないんだよね。” “ふえ～ん” (^_^;)。そう言えば、川崎がまだ小学校の頃、楡形山にスキー場を作る計画があった。川崎の父が、他のスキー場へ視察行ったとか聞いた。うろ覚えだけど……。もしもスキー場あったら、きっと川崎は通い詰めてます、はい(^)v

◇年の瀬に一人想う◇

・あっという間の9か月。4月当初は、小学校の流れから一人取り残され感バリバリだったけど(今も少しあるかな(^_^;)), やっと小学校の教員らしくなってきたと自分でも思います。それになにより、今ここにこうして居られる幸せ感が半端ない。それと言うのも、素晴らしい子どもたち、温かい保護者や地域、気の置けない職員たちに囲まれてきたからこそだと、心の底から思います。お世辞じゃないですよ。本心ですよ。年の瀬にこんな想いを持てること、これを幸せと言わず何と言う。皆様もこれまで同様に来年も良き年でありますように。